

# 放射線汚染地域から子どもたちの疎開を求める2011年6月24日福山地裁郡山支部への仮処分請求に関するローレン・モレの声明

私は、2011年3月11日のマグニチュード9.0と40メートルに到る津波によって損傷を受けた福島第一原子力発電所から放出される核分裂物質と原子炉燃料による今なお進行中の危険なレベルの放射線の結果、受け入れ難いほどの高いレベルの放射線量が見つまっている福島県地域に居住しその学校に通っている子どもたちの疎開を求める仮処分請求を支持する声明をここに記します。

## 私の専門分野

私は、電離放射線に関する国際専門家であり、独立科学者、教育者です。カリフォルニア大学デービス校で女性として初めて地質学理学士号を修得し、同バークレー校でオリेंट学修士号、同デービス校で地球科学博士号を修得（すべて論文のみ）、同デービス校で将来最も期待される若い女性科学者のひとりに選ばれました。

私は国際女性科学者団体の女性地球科学者協会の元会長で、これまでに環境と公共衛生の放射線影響について科学的研究を行い、50カ国で講演をしています。

私は、放射線公共衛生プロジェクト（RPHP）と共同で、米国、英国、日本の原発100マイル（160km）圏内に住む子どもたちから6,000以上の乳歯を採集し、放射線レベルが大気核実験中よりも現在の方が原子力発電所の汚染のために高いことを発見しました。2000年から2001年にかけて、放射線に関する問題で日本の20カ所で講演をしました。

2005年日本での1ヶ月の講演ツアー中、私はアーネスト・スターングラス博士と一緒に青森県の六ヶ所村核再処理施設の運転開始日に東京電力関係者と会い、施設からの高度の放射線放出と事故による環境と公共衛生への影響を抗議しました。

私は、ジャパントイムズ、インターナショナルヘラルドトリビューン、サンフランシスコベイビューなどに寄稿し、インタビューを受けています。また田代明氏の有名な「知られざる被曝者／劣化ウランの実態」の前書きを書いています。多くの放射線に関するドキュメンタリーやテレビ番組（NHK, Press TV, マレーシアTV, イスタンブールTV, KITV ABC ホノルル）に出演し、多くの放射線の情報に関するビデオを制作してインターネットで公開しています。

私は、米国下院議員シンシア・マキニーの公認科学顧問で、日本の国会議員にも科学的なアドバイスをしています。またカナダ議会のアレックス・アタマネンコ議員のウランに関する公式な専門家としての証人です。2003年のアフガニスタン戦争の東京国際戦争犯罪法廷、イラク戦争のイスタンブール国際戦争犯罪法廷組

織委員会での劣化ウランに関する専門家としての証人を務め、2007年と2008年のクアラルンプール国際戦争犯罪会議では、元マレーシア首相のタン Dr. マハティールに基調講演者として招かれ、2010年の同会議に劣化ウラン兵器についてのふたつの正式な意見書を提出しました。

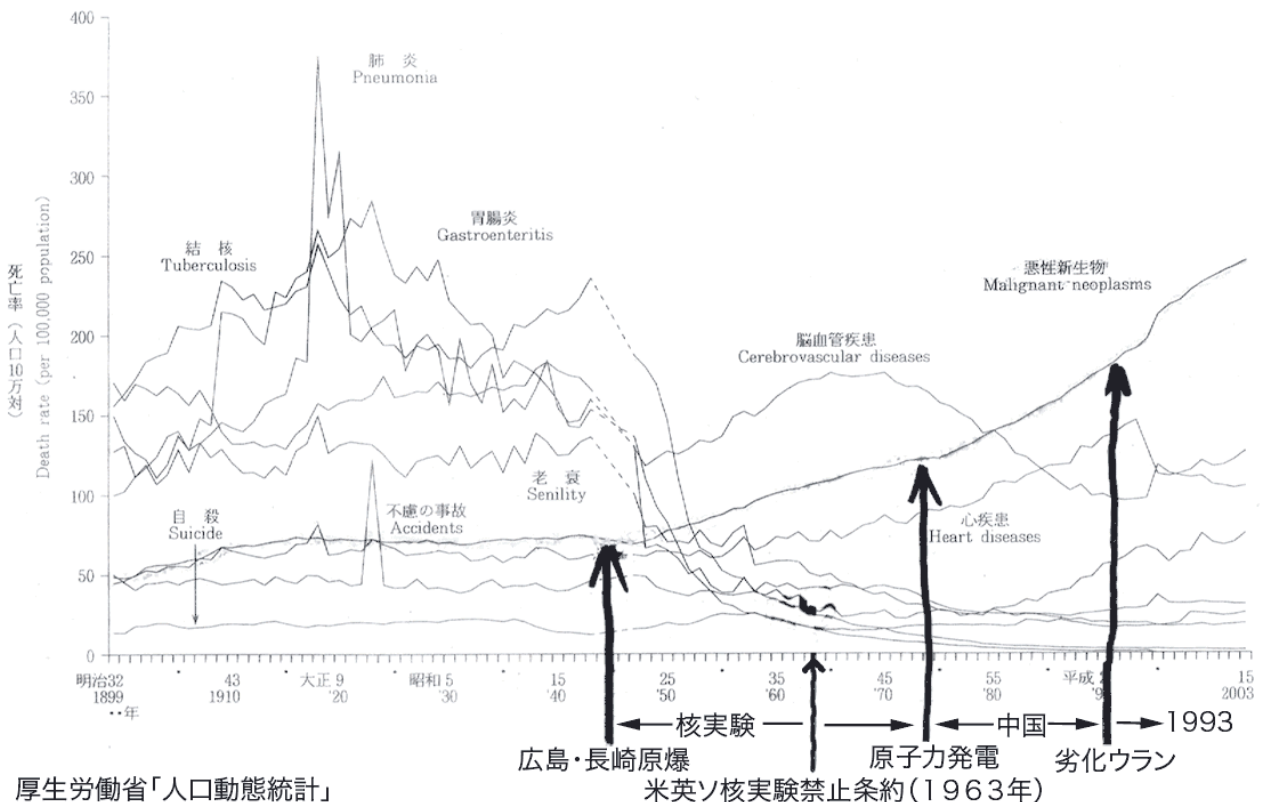
## 大気中核実験、原子力発電所、チェルノブイリ、福島原発災害からの放射線被曝の影響

多くの国々によって集計されている人口動態統計から、大気中核兵器実験後の慢性的疾病やフリーラジカル病の急激な上昇を示す夥しい証拠がみつかります。1899年にまで遡る日本の人口動態統計に勝る記録を持つ国はありません。それによって、人工の放射線が環境に導入される以前の健康統計のベースラインが求めることができるのです。

1

図4 主要死因別死亡率の年次推移—明治32～平成15年—

Figure 4 Trends in death rates from leading causes of death, 1899–2003



日本政府健康統計1899–2003、主要死亡原因  
 出典：厚生労働省人口動態統計1899-2003

この資料より、第二次世界大戦後の新しい原子力テクノロジーの導入ごとに日本では脳疾患、心臓病、ガンが発症し、それによって死亡率が大幅に増加したことが明らかです。米国政府は、電離放射線の恐ろしい被害を一般から隠すために、広島と長崎の原爆投下後の3年間、日本政府に健康統計の報告を禁じました。

この重要な資料はまた、1945年以降も毎年新しい放射線が環境中に放出され、それは主に飲料水と酪農製品として体内に取り込まれることで、日本人の体内に放射線が蓄積されていることを示しています。

### 子宮内被曝による脳障害

日本と同様に、米国も核爆弾実験の放射性ナノ粒子の降雨流出によって全北米大陸が汚染され、それが原因となって慢性疾患の大幅な増加となって現れ、さらに子宮内で低レベル放射線被曝した1945年以降に生まれた子どもたちの全米大学進学適性試験（SAT）成績の12%の大幅な下落がもたらされています。アーネスト・スターングラス博士は、核実験から毎年放出される核分裂生成物の量とSAT成績の下落が直接関係していることを示しました。SAT成績は核実験が終わっても元には戻りませんでした。原子力発電所の核分裂生成物が核実験の放射線汚染に取って代わったからです。

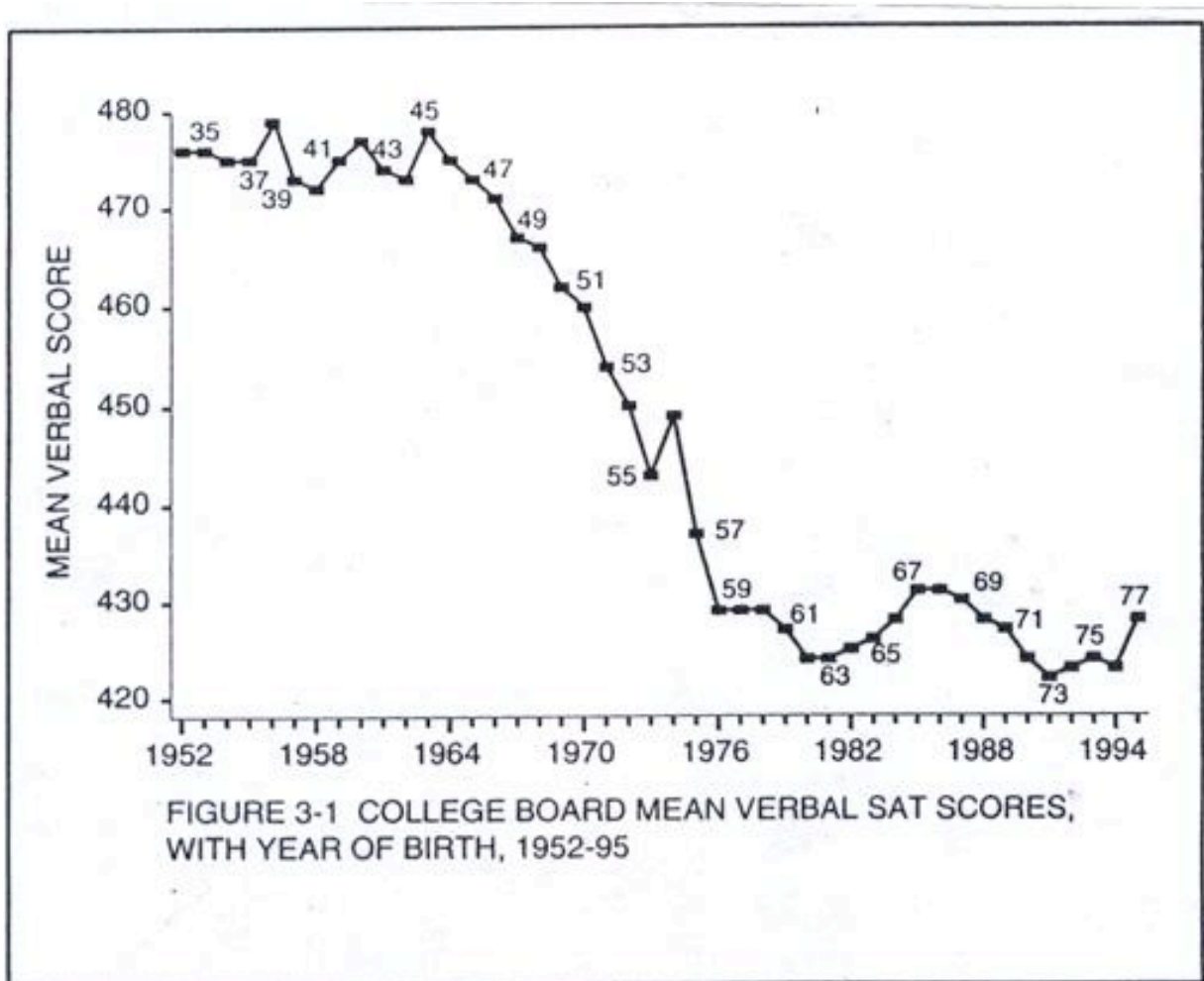


FIGURE 3-1 COLLEGE BOARD MEAN VERBAL SAT SCORES, WITH YEAR OF BIRTH, 1952-95

このグラフは 1952~1995 年の全米平均 SAT 成績です。下の横軸は高校最終学年時のテスト、曲線上の数字は誕生年を示しています。年平均成績の下降は、同じ年のネバダ核実験場での核実験の総相当キロトンに反比例しています。ネバダ核実験場でのその年の核実験で放出される放射線の量が増加するほど、SAT 成績が下がっています。

出典：E.J.スターングラス、S.ベル『フォールアウトと SAT 成績：幼児期知能影響の証拠』ファイ・ベータ・カップン 64,541-545(1983)

## 放射線汚染被曝が高い精神疾患率をもたらす

2004 年米国医師会ジャーナル (JAMA) が WHO 世界精神衛生調査結果を出版しました。

8

JAMA -- The WHO World Mental Health Survey Consortium 291 (21): 2581

Page 1 of 2

JAMA & ARCHIVES

Select Journal or Resource  GO

SEARCH THIS JOURNAL:  GO

GO TO ADVANCED SEARCH >

The Journal of the American Medical Association — To Promote the Science and Art of Medicine and the Betterment of the Public Health

HOME CURRENT ISSUE PAST ISSUES COLLECTIONS CONTACT US HELP

Vol. 291 No. 21, June 2, 2004

TABLE OF CONTENTS >

Featured Link  
• E-mail Alerts

Article Links  
• Return to Article

Table 3. 精神病の発病率  
12ヶ月間世界精神疾患—  
診断面接/精神疾患の分類と診断の手引、世界重症疾患第4版

| 国         | % (信頼性95%)    |                |                |                  |
|-----------|---------------|----------------|----------------|------------------|
|           | 重度            | 中程度            | 軽度             | すべて              |
| アメリカ大陸    |               |                |                |                  |
| コロンビア     | 5.2 (4.2-6.3) | 6.6 (5.7-7.6)  | 5.9 (5.1-6.8)  | 17.8 (16.1-19.5) |
| メキシコ      | 3.7 (2.8-4.6) | 3.8 (2.9-4.2)  | 4.9 (4.0-5.8)  | 12.2 (10.5-13.8) |
| アメリカ合衆国   | 7.7 (7.0-8.4) | 9.4 (8.5-10.3) | 9.2 (8.1-10.3) | 26.3 (24.6-27.9) |
| ヨーロッパ     |               |                |                |                  |
| ベルギー      | 2.4 (1.2-3.5) | 3.3 (2.2-4.4)  | 6.4 (5.0-7.7)  | 12.0 (9.6-14.3)  |
| フランス      | 2.7 (1.1-4.3) | 6.1 (4.8-7.4)  | 9.7 (7.3-12.1) | 18.4 (15.2-21.6) |
| ドイツ       | 1.2 (0.6-1.7) | 3.3 (2.3-4.3)  | 4.5 (3.2-5.9)  | 9.1 (7.2-10.9)   |
| イタリア      | 1.0 (0.4-1.7) | 2.9 (2.0-3.6)  | 4.3 (3.1-5.5)  | 8.2 (6.7-9.7)    |
| オランダ      | 2.3 (1.1-3.5) | 3.7 (2.5-4.9)  | 8.8 (6.1-11.5) | 14.8 (12.0-17.7) |
| スペイン      | 1.0 (0.7-1.3) | 2.9 (2.0-3.7)  | 5.3 (4.0-6.7)  | 9.2 (7.8-10.7)   |
| ウクライナ     | 4.8 (4.0-5.6) | 7.4 (5.8-8.9)  | 8.2 (6.4-10.1) | 20.4 (17.9-22.9) |
| 中東およびアフリカ |               |                |                |                  |
| レバノン      | 4.6 (3.2-6.1) | 6.2 (4.2-8.1)  | 6.1 (3.6-8.7)  | 16.9 (13.5-20.3) |
| ナイジェリア    | 0.4 (0.1-0.6) | 0.5 (0.2-0.7)  | 3.8 (2.8-4.8)  | 4.7 (3.6-5.8)    |
| アジア       |               |                |                |                  |
| 日本        | 1.5 (0.7-2.2) | 4.1 (2.7-5.5)  | 3.2 (1.7-4.7)  | 8.8 (6.2-11.4)   |
| 中国        |               |                |                |                  |
| 北京        | 0.9 (0.5-1.2) | 2.9 (1.3-4.5)  | 5.3 (3.2-7.3)  | 9.1 (5.9-12.2)   |
| 上海        | 1.1 (0.0-2.2) | 1.4 (0.4-2.5)  | 1.8 (0.6-3.0)  | 4.3 (2.6-6.0)    |

Table 3. Prevalence of 12-Month World Mental Health-Composite International Diagnostic Interview/Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders, Fourth Edition Disorders by Severity Across Countries\*

JAMA -- The WHO World Mental Health Survey Consortium 291 (21): 2581

<http://jama.ama-assn.org/cgi/content/full/291/21/2581/TABLEJOC40199T3>

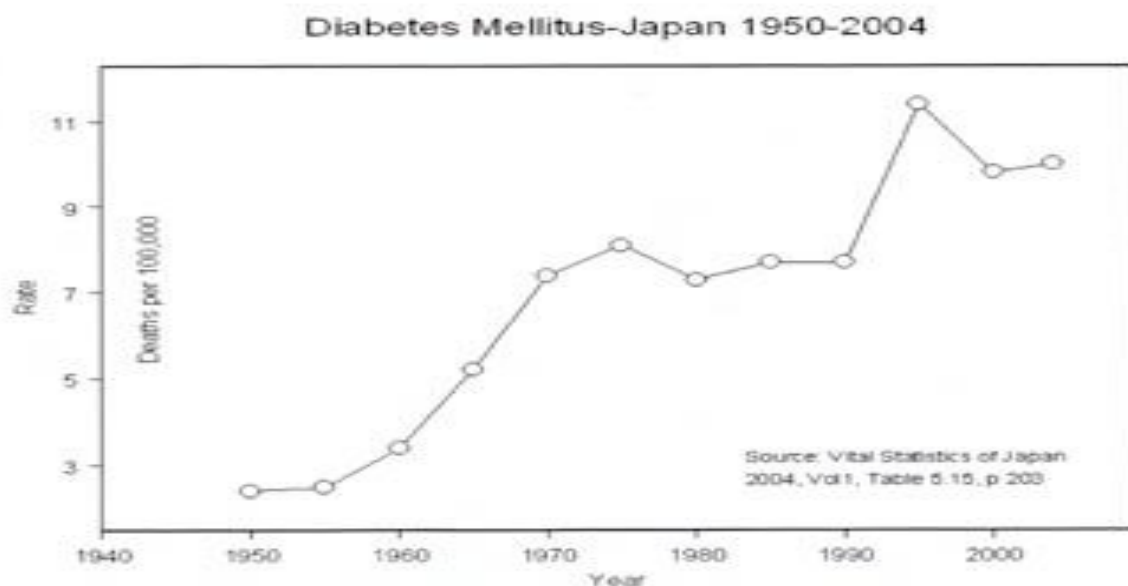
6/20/04

出典：WHO 世界精神衛生調査共同研究：「世界保健機構精神衛生調査、精神疾患有病率、重症度、必要な対応」  
June 2, 2004, V. 291 No. 21: 2581--2590. <http://jama.ama-assn.org/cgi/reprint/291/21/2581/>

ここでもその結果は驚くべきものでした。調査では、米国が国民の26%以上が何らかの精神的障害をもつという世界で最も高い精神障害率があることが判明したのです。中国のゴビ砂漠原爆実験の影響は、核実験の核分裂生成物で汚染された毎年あるゴビ砂漠からの砂塵嵐の風下に位置する北京(9.1%)と日本(8.8%)の精神衛生疾患率に明らかです。メキシコ(12.2%)とコロンビア(17.8%)は、米国内で最も高いガン発症率のハワイから1000マイル風上に位置する核実験場の太平洋のクリスマス島とジョンソン島の核実験場の風下に位置します。ベルギー(12.0%)、フランス(18.4%)、オランダ(14.8%)は、自国の原子力発電所からの汚染か、他の発生源の風下と下流にたまたま位置していたためです。レバノン(16.9%)はフランスのサハラ砂漠での核実験とイラク、ユーゴスラビア、アフガニスタンで使われた劣化ウランによって非常に汚染されました。ウクライナ(20.4%)は1986年チェルノブイリの悲しい被害の証人です。WHOの調査で精神衛生が最も良かった国はナイジェリアでした。核実験場から遠く離れていたからですが、それだけではありません。アフリカは世界で最も糖尿罹患率の低い地域です。アフリカにはほとんど原子力発電所がないからです。

### 糖尿病の主原因は電離放射線

ウラニウムはホルモンとエストロゲン阻害因子なので、1945年以来世界の糖尿病の主な原因のひとつになっています。原子爆弾と水素爆弾はすべて爆弾の核になるプルトニウムよりも何千倍もの劣化ウランでつくられています。それが1945年以降の放射線大気汚染物質の主成分なのです。第一次湾岸戦争で米国の劣化ウラン(DU)兵器の導入された1991年に始まる糖尿病の大幅な増加は、世界の統計に反映されていますが、同時にDUがいかに有害で地球規模の影響を与えているか示しています。多くの新しい糖尿病発症が例年の雨期が始まる時に世界的に報告されていることから、糖尿病の原因が大気中にあることが示唆されます。



日本の糖尿病死亡率 1950-2004 年。このグラフは、大気核実験（1950-1963 年）、1968 年に導入された原子力発電所、1991 年に米国の第一次湾岸戦争で導入された劣化ウランに起因する糖尿病死亡率から、世界の集積放射線影響を表わしています。

出典：人口動態統計、2004 年厚生労働省

## 原子力発電の導入に伴う自閉症の劇的な増加

アーネスト・スターングラス博士はカリフォルニアの年間総発電量キロワット時とカリフォルニアの自閉症例の増加を比較し、両者に直接的な因果関係があることを見出しました。自閉症の発症は子どもが5歳くらいにならないと診断されません。従って、大幅な自閉症の増加の診断時期は、誕生年から約5年補正されました。つまり、たとえ非常に低い量であっても、電離放射線からの胎児の子宮内被曝による脳障害があったことをそれは示しています。

最近の研究では、ワシントン、オレゴン、カリフォルニアの自閉症例が原子炉の存在と降雨パターンとに関連しています。例年の雨期が始まると最も多数の新しい自閉症が診断されており、原因が放射性ナノ粒子の降雨による環境への流出であることが示されています。米国では自閉症の子どもの治療は非常に高額です。

ハーバード公共衛生学科の研究によれば、非常に深刻な障害者の年間治療費は直接医療費と非医療費を含め合計72,000ドルにも昇り、比較的軽症の場合でも年間67,000ドルになるとされています。

(自閉症の治療費、ニューヨークタイムズ、2010/1/22)

## 原子力発電所が廃止されると幼児死亡率と子どものガン罹患率が下がる

放射線と公共衛生プロジェクト（RPHP）による、原発周辺に住む子どもたちと赤ちゃんたちの病気に関する調査研究で、ミシガンのビッグロックポイント原子炉の廃止後の乳幼児死亡率が54.1%減少し、メインのメインヤンキー原子炉廃止後では33.4%減少したことを発見しました。

カリフォルニア、サクラメントのランチョセコ原発が1989年に廃止されて以降7年間に渡って、ランチョセコ原発周囲の4つの郡の5歳以下の子どもたちが白血病、ガン、異常出産による死亡と新しく診断される件数は減少しつづけました。

今日、ストロンチウム90の知られている発生源は原子力発電所だけです。赤ちゃんの歯はまだ生まれない胎児からつくられるので、乳歯は子宮内放射線被曝の線量計として利用できるのです。2005年に私が日本で乳歯を集めた時、最も高いレベルのストロンチウム90は、近くに原発を抱える酪農場からの非常に高い放射線の酪農品があるワシントンDCで生まれたふたりの日本人の赤ちゃんでした。

他の乳歯中のストロンチウム90は高いものから低いものまでありましたが、それは日本の原発からの様々なレベルのストロンチウム90と他の核分裂生成物に汚染された食べ物や水を妊娠中のお母さんたちが飲食したことを示しています。

## チェルノブイリ降雨放射線が日本とカリフォルニアのクラスター性乳ガンの原因

肥田舜太郎医師は、チェルノブイリ汚染気流（プルーム）が太平洋上で日本上空を通過した後のクラスター性乳ガンの日本分布図を作製しました。その日の日本の天候パターンを調べることで、肥田医師はその日に雨が降った地域に乳ガンの発生分布があることを示したのです。

その放射性気流はサンフランシスコ湾地域から山脈を越えてネバダまで到達したので、カリフォルニア、マリン郡のサンフランシスコ北部でも同様なパターンが報告されています。マリン郡の鳥類学者のデイブ・デサンテ博士も、その月に巣作りの鳥たちに高い死亡率があったことと、その死亡率は昆虫類を餌にする鳥よりも植物性の餌の鳥の方が高かったことを報告しています。

クラスター性乳ガンが発生した日本と米国の地域を詳しく調査することで、幼児死亡率、子どものガン、糖尿病、自閉症、それ以外の放射線に関連する病気の増加を確認できるでしょう。以下は、電離放射線に汚染された細胞組織に多量に発生するフリーラジカルによって発症する病気のリストです。

アテローム性動脈硬化  
高血圧  
糖尿病  
虚血再かん流  
慢性炎症炎  
肺障害及び成人性喘息  
嚢胞性繊維症  
酸化ストレス及びガン（複合的関連性）  
酸化ストレス及び虚血性／外傷性脳損傷  
酸化性パーキンソン氏病ストレス  
酸化性アルツハイマーストレス  
筋萎縮側索硬化症（ALS）  
他の神経変成病：  
    ダウン症  
    多発性硬化症  
    神経セロイドリポフスチン症  
    ハンチントン氏病  
    フリードライヒ失調症  
    遅発性ジストニア、プリオン病  
酸化性ストレス及びウイルス感染  
    HIV 感染

## マイコプラズマ)

出典：「生物学と医療におけるフリーラジカル」 3版、B. Halliwell and J. Gutteridge, Oxford University Press (1999).

### 海を越えて数千マイルに渡る福島放射線影響

北米西海岸は広大な太平洋上数千マイルに位置し、福島第一原発とそこから毎日見境もなく放出され、近隣や遠距離地域を汚染している放射性固形物、液体、ガスからははるかに離れています。しかし北米ではその影響がすでに観察されています。

シアトルの自動車のエアフィルター分析からホットパーティクル（放射性核種）が検出されており、それからシアトル市民は1日に5つのホットパーティクルを吸い込んでいることとなります。これは東京では1日10個、福島県ではその30～40倍の300～400個となります。

ウランウムとプルトニウムといったホットパーティクルとアルファ線放射物質のことは、政府や東電（TEPCO）は言及しませんし、それが総放射線放出量の中に考慮されることもありません。アルファ粒子はベータ粒子よりも生物学的に20倍破壊力をもっています。

サンフランシスコの飲料水中のヨウ素131は、カリフォルニア大学バークレー校によってEPA（米国環境省）の飲料水基準よりも181倍高いことが報告されましたが、米国政府は測定を中止してしまいました。

福島311災害以後、バークレーを含む西海岸都市の乳児死亡率が35%増加したことが、ジャネット・シャーマン博士によって報告されています。赤ちゃんが最初に犠牲になるのです。

全米で最も高い飲料水中のヨウ素131が報告されているフィラデルフィアの乳児死亡率が3月11日以来45%増加していることが報告されています。

米国西海岸だけでなくアリゾナの人々さえも口の中で金属味がすると報告しています。これは日本のように、大気中の放射性粒子の徴候です。

6月14日の夜、3号機建屋内の使用済み燃料プールで核爆発が起き、その際大きなガンマ線発光が夜空と建屋を太陽のように明るく照らし出しました。これは使用済み燃料棒と溶解したウランウムとプルトニウムが沸騰し、残りの核分裂生成物と一緒に蒸発したことを示しています。

この未報道の非常に危険な出来事による放射線放出があったのですが、福島県の住民、とくに子どもたちは守られていません。しかし茨城県のモニターでは、午前2：30から午前7：30まで高いレベルの放射線が検出されました。いったい何キューリーの放射線が放出されたのでしょうか？日本国民と北半球の人々に対するこの核戦争はいつ終わるのでしょうか？



疎開させる代わりに、政府は子どもたち（放射線の症状が出ている）に外部被曝線量測定のためのフィルムバッジを配っています。これは、広島と長崎の犠牲者（今でも調査中です）、イラク、ガザの犠牲者に対して行った米国政府の調査と同じ調査研究用グループです。米国政府は米国内の1, 300の原爆実験中でも同じことを米国市民に対して行ったのです。

2011年6月23日

ローレン・モレ

独立科学者

Leuren Moret, Independent Scientist

B.S. Geology UC Davis, M.A. Near Eastern Studies UC Berkeley, PhD Geosciences (ABD) UC Davis  
2703 Forest Avenue Apt. 2, Berkeley, California 94705 USA

Tel. +1 (510) 845-3139; email <leurenmoret@yahoo.com>, <leurenmoret@gmail.com>